

精神科看護って？ ～看護師に求められているもの～

保健師助産師看護師法において、看護師の業務として「療養上の世話」と「診療の補助」が規定されていることはご存じかと思います。

「療養上の世話」ってなんでしょう。シーツを交換したり、入浴できない患者さんの体をふいたり洗髪したりすること、ほかにもいろいろあると思います。

そのとき、看護師さんが「無言」でそれを行ったら患者さんはどうでしょう。
あるいは、ちょっとイライラした感じのトーンで言われたらどうでしょう。

患者さんはそこに「看護」を感じることができるでしょうか。

看護師には、やらなくてはいけないことがあります。でも、やらなくてはいけないことだけやっていたらいいわけではないと思います。

精神科領域では、注射・点滴といったものは身体科の領域に比較すると極めて少ないです。手術などありませんので、ガーゼ交換といったこともほとんどありません。つまり「処置」といわれるようなことが極めて少ないということになります。

看護とは何か、看護師として求められる「看護」とは何か、精神科における看護とは何か、ということをお患者さんとコミュニケーションをとったり、レクリエーションに参加したりするときなどに考え続けて20年以上たってしまいました。

看護とは何か、何が精神科看護なのか、看護師として精神科看護を提供するとは、どういうことなのか。

「精神科看護って？」ということについて、答えは出ないかもしれませんが、一緒に考えてみませんか。